

答 申 書

平成20年11月12日

稚内市長 横田 耕一 様

稚内市総合計画審議会
会長 風 無 成 一

平成19年10月31日付け稚政経第75号にて諮問のありました、「人が行き交う環境都市わっかない」の実現を目指した（仮称）第4次稚内市総合計画の基本構想及び基本計画について、慎重に審議した結果、下記のとおり審議会の意見を付して答申します。

なお、貴職におかれましては、本計画をすみやかに決定のうえ、総合的かつ計画的な行財政運営を着実に遂行され、目標が達成できるよう最善の努力をされることを期待します。

記

基 本 構 想

（計画の体系）

- 経営計画と5つの分野からなる部門別計画とで構成される全体の体系については、妥当と考える。

（将来都市像）

- 稚内の特性が、サハリン、離島、道北観光の起点であることからすると、「人が行き交う」というキーワードは重要と考える。そして、未来を描くうえでは、豊かなだけでなく環境にも配慮した「環境都市」を目指していくという視点も非常に重要であると考えます。

(分野5 産業振興)

- 4つの政策を掲げているが、「観光」についての記述が弱いと感じるので、もう少し観光についての記述を盛り込むこと。

基本計画

- 施策の成果指標の目標値について、現状値と比べて増加（↑）、減少（↓）という設定をするのであれば、どこかに（巻末の資料編など）それを説明する部分をつくること。

その他

- 全体的に、一般的に使われていないような（行政の）用語が多数見受けられるので、もっと一般的なことばを使うこと。
- 一つの文章が非常に長く読みにくい部分が見受けられるので、もっと短くわかりやすい文章を用いること。